

三島村しおかぜ留学

三島村教育委員会



▼ 特徴・PRポイント(三島村ってこんなところ)



三島村は、竹島・硫黄島・黒島の三つの島からなる人口340人少々の小さな村です。日本ジオパークに認定される豊かな自然に囲まれ、アフリカの太鼓「ジャンベ」の島でも知られるなど、ユニークな村づくりに取り組んでいます。

「三島村しおかぜ留学」では、全国各地からやって来た留学生を、村内4つの義務教育学校に受け入れています。子供たちは、少人数の学級で楽しく学習し、日常的なオンライン授業、自然を生かした体験活動、ジャンベ演奏、地域の伝統行事への参加など、「島ならではの、そして三島でしかできない特色ある教育の中で生き生きとたくましく成長しています。学校全体が一つの大家族のようであり、都会では味わえない交流や体験、学びがあります。

▼ 留学生の声

【Aさん】

親にすすめられて三島村にやって来た。最初は母と離れたくなくて、全然行きたくなかったが、学校のInstagramを見て、みんながいろいろな行事や学校生活を楽しそうに送っている様子が分かった。とてもおもしろいので行きたくなくなった。実際に留学すると、おもしろい授業がたくさんあった。タケノコを採りに行ったり、海で水泳の練習をしたりした。また、オペラ歌手が突然来校して、コンサートが始まったこともある。今まで僕が経験したことのないワクワクすることがたくさんだ。一番楽しみにしている釣り遠足もある。これからも、苦手な漢字に挑戦したり、好きな体育と理科をもっと頑張ったりしながら、島を思いっきり楽しみたい。

【Bさん】

島に来て1年たった。一番の思い出は、留学生同士で暮らした「しおかぜハウス」での時間だ。みんなで料理したり、海にダイブしたりと、協力し合い、様々な貴重な体験ができています。楽しい毎日だが、それだけではなかった。みんな学年も出身地もバラバラで、価値観の違いに戸惑ってしまい、相手との距離感がつかめなかったこともあった。しかし、そのたびにみんなで話し合い、少しずつ、お互いが自分のペースも大切にして生活できるようになった。また、私が嫌なことがあった日も、一人で抱え込むことのないよう、同じ部屋の友達や里親さんは優しく手を差し伸べてくれた。おかげで、「もう一度頑張ってみよう」と思えたことがたくさんあった。最高学年の9年生として、これまでの経験を生かし、困っている人の話を聞いて、一緒に解決できるような人になりたい。

▼ 費用負担・補助等

- 1 委託料：月額9万円（実親負担：月額2万5千円，村補助：月額6万5千円）
 - 2 教材費・学用品費・衣料費・遊具類費・通信費・旅行費・特別活動費（部活動・その他の教育活動に係る費用）等の費用及び小遣い等，留学児童生徒に関わる経費
- ※ 医療費・給食費 ➡ 無償（村費負担）

▼ 条件

- 1 小学校中学年から中学校までの児童生徒
- 2 豊かな生活体験と温かい人間関係により，第二のふるさとを求める児童生徒
- 3 島の大自然の中でのびのびと生活し，勉強することを希望する児童生徒
- 4 通院を必要とする持病や，アレルギーなどのない児童生徒

▼ 学校規模・学校の主な行事（児童生徒数、教職員数は令和7年5月1日現在）

4つの義務教育学校全てで、日常的な遠隔授業やジャンベ活動、ALTとの交流などに取り組んでいます。また、日々の教育活動の様子は、各学園のHPやインスタでも発信しています。

【三島硫黄島学園】

- 児童生徒数 28人
- 教職員数 16人
- 主な行事等
 - ・筍採り
 - ・椿の実拾い
 - ・漁業体験授業



【三島竹島学園】

- 児童生徒数 11人
- 教職員数 11人
- 主な行事等
 - ・筍採り
 - ・釣り遠足
 - ・ハマギプロジェクト



【三島大里学園】

- 児童生徒数 20人
- 教職員数 14人
- 主な行事等
 - ・大里俳句の旅
 - ・釣り遠足
 - ・弓矢踊り、面踊り



【三島片泊学園】

- 児童生徒数 17人
- 教職員数 10人
- 主な行事等
 - ・釣り体験学習
 - ・筍採り、いも掘り
 - ・十五夜かや編み



以上のほか、オンラインを活用した4校相互の交流学习、島を渡っての集合学習、4校合同での宿泊学習、修学旅行なども実施しています。

▼ 問合せ・アクセス

【三島村教育委員会】

電話番号：099-222-3141
FAX 番号：099-223-1832
メールアドレス：
kyouiku00@mishimamura.jp
〒892-0812 鹿児島市名山町12-18



詳しくは

三島村 しおかぜ留学



で検索！



※ 左のQRコードからも入れます。



十島村山海留学

十島村教育委員会

▼ 特徴・PRポイント

○ 十島村山海留学制度の目的

十島村山海留学制度は、十島村内の義務教育学校に転入学を希望する児童生徒に対し、村内の受入れ家庭や山海留學生寮の協力を得て受入れを実施し、十島村の豊かな自然の中で様々な体験活動を通して心身共に健康な児童生徒の育成を図るとともに、村内児童生徒及び転入学児童生徒相互の教育効果の向上を期し、学校の活性化と教育の振興・充実を図ることを目的としています。

○ 十島村の島々

黒潮は、十島村を西から東に流れていきます。大蛇行の真ただ中に九州と琉球をつなぐように七つの有人島がちょうど北斗七星が映るように日本海流の中にあります。七つの島々はそれぞれの特性があり、様々な民俗や自然に満ちています。渡り鳥のルートであり、歴史文化が交錯した道の島々です。

▼ 費用負担・補助等

○ 保護者費用負担（月額）

◆前期課程児童（小学生） 23,000 円 ※R8.4～28,000 円

◆後期課程生徒（中学生） 25,000 円 ※R8.4～30,000 円

※上記以外の教育費用等は保護者負担、但し給食費は村費負担になります。

○ 山海留学希望者等への助成制度

環海の離島ゆえに希望のご家族には希望寮等の下見をお勧めしています。その下見に要する旅費の一部を助成しています。これ以外にも定期船運賃等を助成するしくみ有。

▼ 対 象

小学1年生～中学3年生までを対象にしていますが、寮の場合は小学3年生以上が対象です。

▼ 学校規模・学校の主な行事

十島村には、7つの学園があります。

「生きる力を育む心豊かな人づくり」を基本方針とし、各島の特性にあった教育を行っています。学園は、少人数教育を主に異学年との合同授業や一人ひとりが主役となつての前期課程・後期課程合同の学園行事等を展開しています。

また、オンラインシステムを利用し各学園をつないでの合同授業を行うことで、児童生徒は多様な考え方や意見を交換したり、研究授業や校内研修、オンライン授業などの活性を図ったりすることで、教員の授業力向上も図っています。

▼ 問合せ・アクセス



【担当課】

十島村教育委員会教育総務課

電話：099-227-9771

メール：toshima-ky@tokara.jp

HP：http://www.tokara.jp/education/kyouiku/